

## お母さんの詩

### 「親子共に安心できる場所」 Sくん(5歳)のお母さん



初めての子育てですが、一歳を超えてから違和感が強くなってきました。一歳半健診の問診欄に意味のある言葉を三個以上話せるかという質問に、ギリギリオウム返しで言うてくれる『ママ、パパ』とトーマスの仲間のゴードンだけはそのおもちやを持って『ゴ』と言っていたのでそれを入れてなんとか三個書き出しました。同年代の子供との差を日に日に感じながら、いこいの親子教室に出会いました。親子教室でも



人見知りで、私から離れられず、給食もほとんど食べられずでした。親子教室で他のお子さんはお返事もできて、おはしも使えてと、いつも比べてばかりいました。いこいの家に入園が決まって、通い始めて行き渋りがひどく、だますように連れて行つては、泣いて置いて行く罪悪感に私も先生の前で泣いてしまったり。入園したてはとても大変でした。夏のプールが始まり楽しく思えた様で行き渋りが良くなつてきて、先生方のおかげで、秋のお散歩や冬のクリスマス会が楽しい事、季節の遊びをいっぱい教えてもらい楽しく過ごせるようになりました。息子はものすごく偏食で、二歳〜三歳半頃までの水分はほぼ紅茶花伝のピーチティーのみでした。それ以外は飲まず、水で薄めて飲ませたりしましたが、糖尿病が心配でした。夏場は水分をとらせる事を優先して飲める物を与えていたら、これしか飲まなくなりました。入園して朝の会でのお茶も最初は飲まずでしたが、先生がスプーン一杯からはじめて下さり、少しずつ飲めるようになり、コップに入れて飲みきったら

入れるようにして下さったり、先生方の努力のおかげで今では麦茶、緑茶をぐびぐびと飲めるようになりました。

給食も全部完食の常連になり、参観日にはたくさん食べている息子に驚きました。

今では見違えるほど成長し、小学生になる不安はありますが、いこいさんで過ごした日々が私と息子の糧になり大丈夫だと思えます。

親子教室から大変お世話になりました。たくさんの愛情を親子共に受け取りました。親子共に安心出来る場所ができて救われました。まだ少し先ですが卒園後次の親子さんがいこいさんで救われますように願っております。





## 親子教室

いこいの家では、集団に入る前の発達に心配のあるお子さんを対象に、親子で小集団のグループ活動に参加していただく「親子教室」を開催しています。運動発達がゆっくりなお子さんを対象とした「たんぼぼグループ」と、歩行可能でことばがゆっくり・落ち着きがない等のお子さんを対象とした「ひまわりグループ」「ミニひまわりグループ」があります。

### <親子教室のねらい>

- ① 幼児期に経験しておきたい様々なあそびにより、お子さんの発達を支援していきます。
- ② 小集団でのあそびや保育活動を通して、お友だちとの関わりを経験し、意欲と自信を育てます。
- ③ 親子で参加することで、一緒にあそぶ楽しさを知り、発達の基礎となる共感関係を築きます。
- ④ 親子で一緒にあそぶ中で、保護者の方によりよい関わり方や声かけの方法を知る機会とします。

### <内容>

季節の歌や手あそび、リズム体操、乾布摩擦、感覚遊具、感触あそび、わらべうた、リトミック、音楽・楽器あそび、制作あそび、季節のあそびなど室内や戸外で色々なあそび（保育活動）を、親子で経験していただきます。親子でじっくりあそぶことにより親子関係を育て、お子さんの楽しめることや好きなことを増やしていきます。また、食事・排泄・睡眠等の基本的な生活習慣や、子育ての中で心配・不安なことについても保護者の方と一緒に考えていきます。

※参加のご希望等、お問い合わせはいこいの家までご連絡ください。





## 防災訓練の様子

いこいの家では毎月、地震や火事など様々な災害を想定したり、避難場所や時間を変更したりしながら防災訓練に取り組んでいます。6月の避難訓練は、火災発生を想定した避難で、今年度初めて危険を知らせるサイレンを鳴らしての訓練でした。サイレンの音に少し驚いたり、慣れない防災頭巾をかぶって不安そうな子もいましたが、どのクラスも短い時間で玄関前に避難することができました。毎月訓練を行うことで“いざ”というときに落ち着いて行動できる力をつけていきましょう。



## 園庭点検をしています

いこいの家では、毎月1回、職員による園庭点検を行っています。

小石や木の枝を拾ったりする他にも、園庭で遊ぶ時にけがをするような危ないものはないかな？踏んで痛いものはないかな？と職員が手で確認をしながら、こどもたちが安全に遊べるよう点検をしています。

